

都市再生整備計画 事後評価シート  
岩村地区

平成25年3月

岐阜県恵那市

様式2-1 評価結果のまとめ

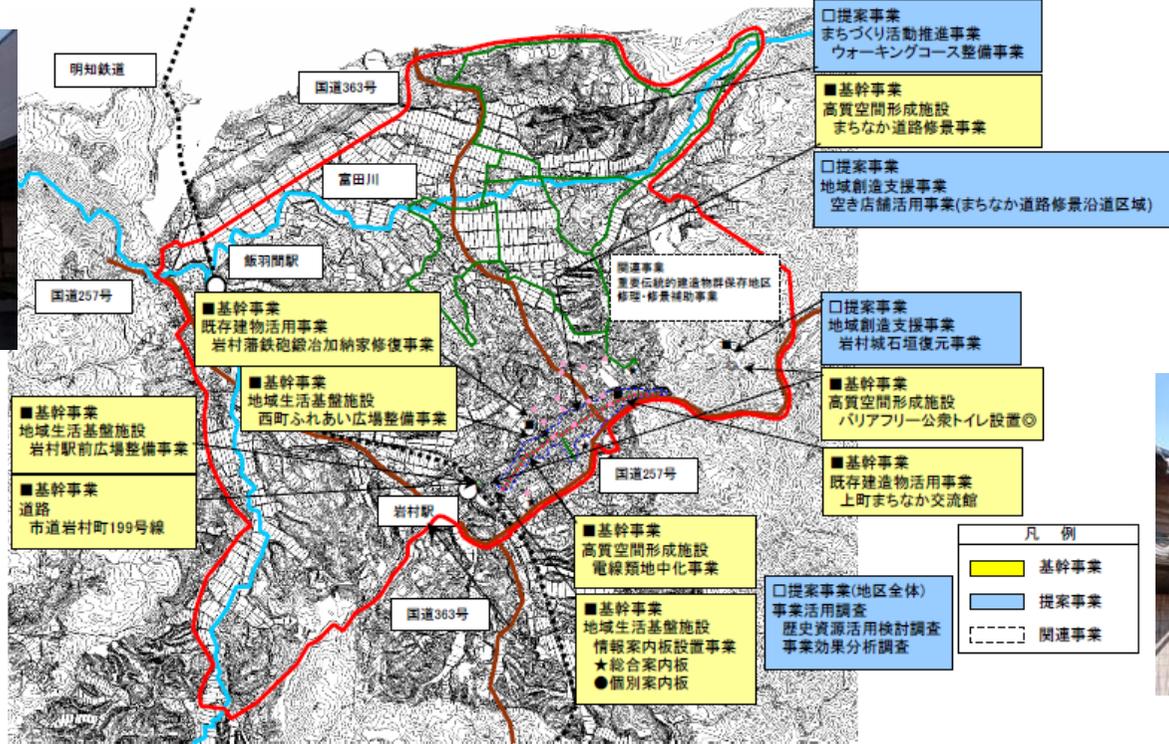
都道府県名	岐阜県		市町村名	恵那市		地区名	岩村地区			面積	930ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	765百万円	国費率	0.427				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設:西町ふれあい広場、岩村総合情報案内板、まちなか案内板 高質空間形成施設:道路カラー舗装、電線地中化(市道本町新町線、市道本町殿町2号線、市道本町大路線)、バリアフリー公衆トイレ 既存建造物活用事業:上町まちなか交流館										
		提案事業	地域創造支援事業:空き店舗活用事業 事業活用調査:歴史資源活用調査、事業効果分析調査										
	当初計画から削除した事業	事業名											
		基幹事業	地域生活基盤施設:(仮称)イベント広場		地域生活基盤施設:駅前広場や西町ふれあい広場、岩村コミュニティセンターを拠点として活用することとなり、イベント広場整備の必要性が低くなったため、削除した。				主に指標1:「観光入込客数」に関連する変更であるが、他所で効果を代替する事業を追加したことにより数値への影響はないと考えられるため、数値目標は据え置く。				
			提案事業	地域創造支援事業:知新館正門移築復元事業、民俗資料館移築事業 事業活用調査:駐車場有効活用調査 まちづくり活動推進事業:城下町アピール事業、地域資源活用勉強会、町並み活性化検討委員会		地域創造支援事業:地区内に点在する地域資源を活用したウォーキングコースを設置することとなり、移築の必要性がなくなったため、事業を削除した。 事業活用調査:市街地内にある市有駐車場に設置する案内サインの検討事業であったが、別途、総合情報案内板等のサイン整備において、その方向性を検討したため、この事業は削除した。 まちづくり活動推進事業:地域資源活用勉強会は民俗資料館の移築に伴う活用方法の研究事業であったため、移築を行わないことにより事業も削除した。町並み活性化検討委員会は地域活性化に向けた検討や調整を図っていく事業であったが、別途、岩村地区の街並み整備についての計画が確定したため、削除した。				主に指標1:「観光入込客数」に関連する変更であるが、他所で効果を代替する事業を追加したことにより数値への影響はないと考えられるため、数値目標は据え置く。			
新たに追加した事業		道路:市道岩村町199号線 地域生活基盤施設:岩村駅前広場 既存建造物活用事業:岩村藩銃砲鍛冶加納家		道路:岩村駅から重伝建地区などへの誘導の際に散策の魅力化と利便性をさらに向上させるために事業を追加した。 地域生活基盤施設:地区玄関口である岩村駅から重伝建地区などへの誘導や人々の滞留環境を確保するために事業を追加した。 既存建造物活用事業:恵那市の有形文化財(建造物)に指定されており、一般公開に向けての耐震補強工事と内外装の修復工事が必要となったため、事業を追加した。				道路:指標3:「地区内の居住満足度」への影響が考えられるが、この事業による効果は当初設定した数値の上げ幅の範囲内であると考慮されるため、数値目標は据え置く。 地域生活基盤施設、既存建造物活用事業:主に指標1:「観光入込客数」に関連する変更であり、この事業により観光客数の増加も見込まれるが、数値目標を設定する際に不安定要素のある観光客数の安定化を優先するために「現状維持」としたため、数値目標自体は据え置く。					
	地域創造支援事業:岩村城石垣復元事業 まちづくり活動推進事業:ウォーキングコース設置事業		地域創造支援事業:崩落の危険性のある箇所石垣復元工事を行い、歴史的資産としての魅力を高めるために事業を追加した。 まちづくり活動推進事業:地区内に点在する歴史資源や自然景観を結びつけることで回遊性を高め、観光地としての魅力向上を図るために事業を追加した。				主に指標1:「観光入込客数」に関連する変更であり、この事業により観光客数の増加も見込まれるが、数値目標を設定する際に不安定要素のある観光客数の安定化を優先するために「現状維持」としたため、数値目標自体は据え置く。						
交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	観光入込客数	人/年	67,506	H18	67,506	H24	72,811	○	あり	観光の拠点となる施設が整備された他、まちなみ景観の向上や来訪者の利便性が向上した。また、歴史的資産の魅力向上や地域資源を紹介する案内板の充実なども合わせ、観光地としての魅力が向上したことにより、観光入込客数の増加につながった。	H25.6	
	指標2	空き店舗活用事業の活用件数	軒	0	H19	3	H24	8	○	あり	空き店舗を活用して地域交流の拠点となる上町まちなか交流館を整備するとともに、喫茶店などの飲食店としての活用もみられた他、新たに移り住むなど住居として活用する人も増え、空き家・空き店舗の活用件数が増加した。	H25.10	
	指標3	地区内の居住満足度	%	70.0	H19	80.0	H24	70.3	△	あり	観光地としての魅力向上や地域交流拠点の整備の他、道路整備による歩行者の安全性の確保やウォーキングコースの整備による地域資源の回遊性の向上など、まち全体の魅力があがったことにより、居住満足度の増加につながった。	H25.10	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの魅力が向上したことにより、空き家だった家屋に新たに移りこむ住民も増えた。</li> <li>・地域協議会などによる既存イベントのブラッシュアップの検討など、まちづくりの機運が高まった。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容												
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後の対応方針等		
	住民参加プロセス		岩村町町並み活性化推進委員会において、4つのグループによる検討を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民に対して広く情報を発信し、まちづくり計画に対する理解や参画を促すなど、今後には、必要に応じて、地域住民等の参画方法を検討する。		
	持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

## 様式2-2 地区の概要

岩村地区(岐阜県恵那市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:「何度でも訪ねたい町 いつまでも暮らしたい町」 目標1:歩いて楽しめる、何度来ても楽しめる、便利に生活できる賑わいのある城下町づくり 目標2:農村風景やホテルの里などの自然景観・自然環境を「守り・育て・生かす」まちづくり 目標3:みんなで助け合い、支えあふれあいとてもなしの心が通うまちづくり		観光入込客数	単位:人/年	67,506	H18	67,506	H24	72.811	H23
		空き店舗活用事業の活用件数	単位:軒	0	H19	3	H24	8	H24
		地区内の居住満足度	単位:%	70.0	H19	80	H24	70.3	H24



西町ふれあい広場



上町まちなか交流館

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地としての魅力向上や、地域交流拠点の整備、歩行空間の安全性確保などにより、地区の活性化が図られた。</li> <li>富田地区にウォーキングコースを設置し、富田地区の地域資源を結ぶ環境が整備されたことにより、回遊性が向上するなど、環境維持・向上につながった。</li> <li>上町まちなか交流館などの交流や活動の拠点整備とともに、案内板などのサイン機能の整備によりソフト面でのネットワーク化が図られるなど、地域振興の実現につながった。</li> <li>駅前広場と重伝建地区を結ぶ県道が未改良であるため、駅からのまちなみ景観の連続性がとぎれている。</li> <li>観光客の増加や利用形態の変化などの影響により、一時的ではあるが、トイレの水洗処理機能が厳しくなる時期がある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>重伝建地区の価値ある建物を中心としたまちづくりや農村景観の保全など、景観に対する住民意識の醸成を図りながら、魅力のあるまちなみ景観や地域資源の活用を図るとともに、対外的に広くPRするなど観光地としての魅力を発信し、観光客誘致につなげる。</li> <li>生活道路などの基盤整備の充実を図るとともに、交流機能の更なる充実を図るなど、岩村地区全体で地域住民の生活環境の向上を図り、定住促進などにつなげる。</li> <li>岩村駅と重伝建地区を結ぶ道路の景観整備など、駅からのまちなみ景観の連続性を確保する。</li> <li>公衆トイレの機能の向上や来訪者向けの駐車場の確保など、観光客増加に備えた施設対策を講ずる。</li> <li>観光事業における観光協会と地元活動団体の連携や、地元住民による草の根活動的な町並み保存組織の結成などの体制づくりを進めていく。</li> </ul>